

5-①. 学年別に見る生徒の本校の教育活動の感じ方の特徴  
 ※全質問項目の中から評価上位2つと下位2つをピックアップした

学年	今年度	前年度
中一	全体的にまだ、落ち着きがない学年のように感じる。新型コロナウイルスの影響で、登校日数が少なかったことや、宿泊研修が中止になったことが原因だと考える。よって、学校生活の満足度や授業の取り組む姿勢などで、例年より、低い評価となっている。また、家庭学習への意識が低いことも気になる。	
中二	昨年度に比べて、家庭学習の意欲が向上し、進路を意識した取り組みができています。逆に、進学実績の満足度は低くなっていることを踏まえ、徐々に進学意識が高まり、それぞれが目標を持ち、日々の学習を意識できるようになったと感じる。とても良い傾向である。	自らの行動に責任を持ち、自立ある行動ができる生徒の割合が高い。よって、自主的学習や行事への満足度も高い学年である。例年の事ではあるが、進路指導に関しては評価が不十分である。
中三	昨年度より、学習の必要性を感じて、授業に集中して取り組んでいる生徒が増えている。ただ、家庭学習の必要性については全体の3分の1の生徒が学力向上に役立っていないと感じている。今年度が「自ら学ぶ姿勢の育成」をもとに、教育活動を行っているの、その点については、再度、説明と現在の取り組みの改善が必要である。	昨年度に続き、今年度も図書館には読みたい本が十分備わっているという項目で不十分であると感じている生徒が多い。授業参加や宿題に関しても例年より意識の高さが現れ、それが結果として進路についても高い関心を示している学年である。
高一	学校への満足度、家庭学習の学力向上効果、責任を持って行動できるという項目で、昨年度より、良い評価となっている。高校生になり、いろいろな意識が高まったことを感じる。全体の評価としても、例年に比べて高い水準であることから概ね学校生活に満足しているが、生徒からの要望コメントは多い学年であることから、学校に対する要求は高い学年だと感じる。	この学年の特徴として、宿題が学力向上につながっていないと考える生徒が多い。これは、中学2年の時から変わらない。逆に、服装、頭髪指導や心の問題に関するケアについてはほとんどの生徒から良い評価を得ている。図書館の本の充実の項目も昨年同様に低い。
高二	昨年度に比べて、多くの項目で評価が下がっている。特に、学習の必要性や家庭学習の意図などの評価が低いことが気になる。ただ、授業中は集中できている生徒が多いことから、再度、自学自習の意義など自ら学ぶ姿勢の構築については、多くの生徒が満足していることから、生徒個々と今後の取り組みについて再構築することである。	この学年は、進路指導は十分にやってもらえているが、自分自信進路実現に向けて動きだしていないと感じている生徒が多い。その原因が家庭学習など学習面での自分自身の甘さ反省した結果と予想される。お祈り、聖歌の項目では例年より高い数値である。
高三	この学年の特徴として、満足度が他学年と比較して、低い学年であることが挙げられる。ただし、今年度は多くの項目で、昨年度より満足度が上がっている。特に、学校への満足度や、学習面での評価が上がっていることは良い傾向である。進路実現に向けての取り組みが例年より低いことが気になる点である。	他学年と比較し、満足度が低い項目がいくつかある。特に、学校行事やホームルーム活動の評価が低い。学校環境の保全に関しては、学校を綺麗に保つ意識が感じられ、学校に対する期待の大きさ、何かしら貢献したい意識も感じる。

5-②. 学年別に見る保護者の本校教育活動の感じ方の特徴  
 ※全質問項目の中から評価上位2つと下位2つをピックアップした

学年	今年度	前年度
中一の保護者	例年に比べて、学校生活への満足度が高い学年である。特に、学習面や進路指導の面においては良い評価を得ている。一方で、礼儀、挨拶やホームルーム活動の評価が低い。コメントからも、学校生活が見えてこないという意見が多く、新型コロナウイルスの影響で、学校生活を見てもらうことができていることが原因だと感じる。保護者とコミュニケーション取れる工夫が必要である。	
中二の保護者	進路指導に関して、十分指導されていると感じているが、お子さんの取り組みが不十分だと感じている保護者が多いのが特徴である。多くの項目で昨年度より、評価が少し低下している。また、保護者会活動や学校との連携にやや物足りなさを感じている保護者がおり、改善が必要だと感じる。	お子さんの学校生活や教員の指導に関しては、多くの方に満足いただけているが、学習面、特に宿題の意図や子供達の取り組みに関して、また進路指導に関しては、昨年度より評価が低く、不十分だと感じている。生活指導や環境整備の面、生徒、担任、保護者の連携では良い評価を得ている。
中三の保護者	進路実績に関しては不十分だと感じるが、子供の進路実現への取り組みについては意識が上がっていると感じる保護者が多い。また、生徒は部活動に関して不十分だと感じているのに対して、保護者の評価は昨年度より上がっている。全体として、お子さんの学習への意欲に満足できていない保護者が多いのが特徴である。	国際交流に関しては、多くの方が充実していると感じており、生徒、保護者、教員間の連携に関しても概ね良好である。学習面に関して、もっと教員と連携をはかって学力向上につなげたいという考えもあり、進路指導にも高い関心を持っている保護者が多い。
高一の保護者	宿題の在り方、授業の在り方について満足できていない保護者が多いのが特徴である。また、自分のお子さんに対しても学習面、進路実現に向けた取り組みが弱いと感じている。生活面では、カウンセリングの充実などが昨年度より評価が上がっていることなど、全体的に良い評価を得ている。学習面も含め生徒がいかに学校生活を充実させるかが改善の鍵である。	宿題と学力向上に関して多くの方にご理解いただけてはいるものの、お子さんの取り組みに不満を抱える保護者が多くいる。また、学校行事、ホームルーム活動に関する評価が低く、もっと生徒、保護者、教員の連携を密にしてほしいと感じている保護者も多い。
高二の保護者	部活動の活性化やホームルーム活動においては、高い評価を得ているが、環境整備や進路指導に関しては昨年度より、低い評価となっている。新型コロナウイルスの対策として、オンライン授業の定着など、さらなる改善への要求があった。このような状況でいかに保護者と連携を図り、本校の教育活動を見ていただくかが重要に思われる。	ホームルーム活動や生徒会活動、また相談できる環境の項目が他学年に比べて低く、15%程度の保護者が子供が充実して学校生活を送っていないと感じている事と相関関係があると予想される。お子さんが中学3年の時より、進路実現に向けて頑張っていると感じている保護者が増えた。
高三の保護者	昨年度と比較して、多くの項目で評価が上がっている。ただ、学校生活の充実や学習状況で評価が低い。このような状況で受験を迎えることは、例年以上の不安を感じるため、担任と連携を図りながら、サポートしていくことが重要である。	生徒が不安、不満を感じる項目は保護者の満足度も低く、進路指導に関しては、生徒の評価以上に保護者の満足度は低い。学校生活の充実、生徒、保護者、教員間の連携、相談の項目でも昨年度より下がっている。保護者活動では、一定の高い評価を得ている。